

北朝鮮の対日諸工作

情 勢

北朝鮮は、平成 23 年 12 月、最高指導者であった金正日国防委員長が死去したことに伴い、^{キムジョンイル}
^{キムジョンウン}**金正恩氏**を後継者とする体制に移行しました。

24 年 4 月には、朝鮮労働党代表者会及び最高人民会議が開催され、金正恩氏が朝鮮労働党第一書記及び国防委員会第一委員長に就任し、**北朝鮮の最高指導者としてのポストを独占**したほか、海外から多数のメディアや来賓を招き、「民族最大の慶事」と位置付ける^{キムイルソン}金日成生誕 100 周年記念の祝賀行事を盛大に開催し、**北朝鮮の発展ぶりをアピール**しました。

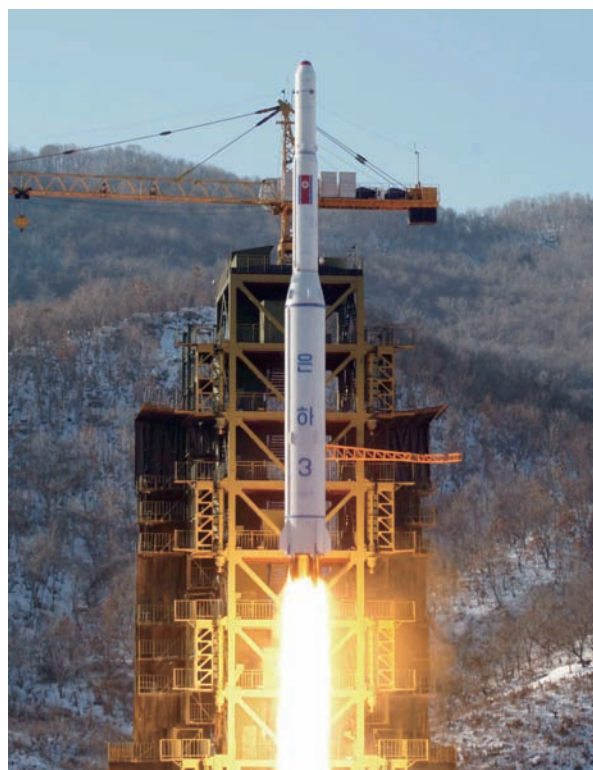
また、北朝鮮は、金正恩第一委員長が^{リソルジュ}李雪主夫人を随行させ、市民と触れ合う姿を報じたりすることで、「**人民愛**」に溢れた指導者であることを**演出**し、求心力の向上を図るなど、宣伝・扇動の手法を変化させています。さらに、7 月には、金正恩第一委員長の最側近とみられていた^{リヨンホ}李英鎬朝鮮人民軍総参謀長を朝鮮労働党の役職から解任したほか、青年層における忠誠心の醸成や思想強化に着手するなど、新体制の方針に独自性を見せています。

こうした中、4 月には、国際社会からの自製の呼び掛けにもかかわらず、「**人工衛星**」と称する**ミサイルを発射**しましたが、打ち上げは失敗しました。さらに、12 月には、**再度ミサイルを発射**し、打ち上げの成功を内外に向けて大きくアピールしました。

他方、朝鮮総聯は、4 月に北朝鮮で開催された金日成生誕 100 周年の記念行事に、^{ナムスンウ}南昇祐朝鮮総聯中央副議長らを代表団として派遣するとともに、日本国内から多額の現金を持ち出し、「ヒト、モノ、カネ」による貢献を行うなど、金正日時代と変わらない**北朝鮮への従属性**を示しています。また、5 月には、^{ホジョンマン}許宗萬朝鮮総聯中央責任副議長が議長に就任し、就任挨拶の中で金正恩第一委員長に対する忠誠を表明しました。



金正恩夫妻(右側が李雪主夫人)(時事)



平成24年12月のミサイル発射の状況(共同)

対日諸工作

北朝鮮は、24 年中、「労働新聞」等の公式メディアを通じ、我が国に対して、戦時中の「犯罪」に対する補償や謝罪といった「過去の清算」を要求しました。一方で、北朝鮮に埋葬された残留日本人の遺骨返還問題について、民間団体の訪朝及び現地調査を受け入れるとともに、4 年ぶりに日朝政府間協議に応じるなど、**対北朝鮮措置の解除等に向けた駆け引き**を繰り返しました。

朝鮮総聯は、民族教育の生命線と位置付ける朝鮮学校について、我が国政府の施策の不当性を訴える街頭宣伝や中央省庁に対する要請行動等を行いました。また、7 月には、組織の象徴である朝鮮総聯中央本部の土地及び建物に対する競売手続の開始が決定するなど、朝鮮総聯を取り巻く情勢が厳しくなる中で、**親朝世論の醸成に向けた取組**を展開しました。

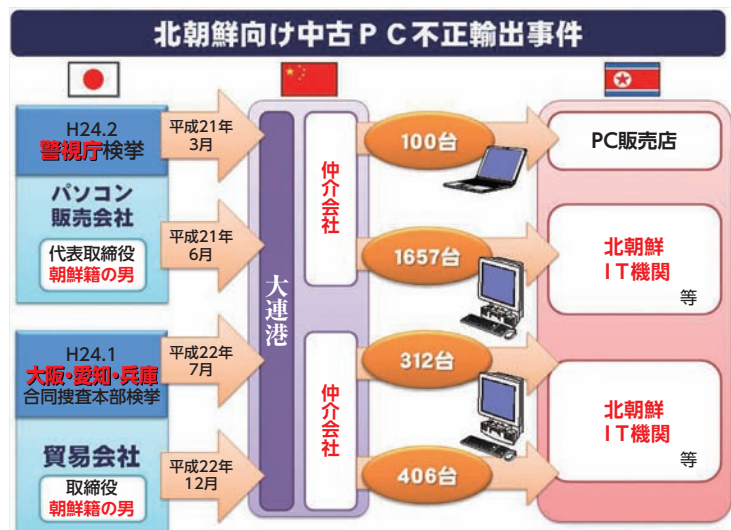
対北朝鮮措置

政府は、18 年 10 月以降、北朝鮮に係る輸出入等に対し、各種措置を講じています。同月に北朝鮮を原産地又は船積地域とする**全ての貨物の輸入が禁止**されたほか、18 年 11 月からは北朝鮮向けの**奢侈品（ぜいたく品）**の輸出が、21 年 6 月からは北朝鮮向けの**全ての貨物の輸出がそれぞれ禁止**されています。

警察では、これらの措置に係る違法行為（大量破壊兵器等の拡散に係る事件を除く。）をこれまで 25 件検挙しており、24 年中には、奢侈品に該当する中古ノート型パソコンを中国経由で北朝鮮に不正に輸出した事件等**7 件を検挙**しました。今後とも、こうした違法行為に対して厳正な取締りを行うこととしています。

〈主な検挙事例〉

- 貿易会社経営者らが**中古パソコン等**を**中国及び韓国経由**で北朝鮮に不正に輸出した外為法違反事件（1 月、大阪、愛知、兵庫）
- パソコン販売会社社長が奢侈品に該当する**中古ノート型パソコン**を**中国経由**で北朝鮮に不正に輸出した外為法違反事件（2 月、警視庁）
- 自動車販売会社役員が奢侈品に該当する**中古普通乗用自動車**を**中国経由**で北朝鮮に不正に輸出した外為法違反事件（4 月、兵庫、鳥取）
- 会社役員らが**スロットマシン、ボウリング用品等**を**中国経由**で北朝鮮に不正に輸出した外為法違反事件（6 月、栃木）



第3章 外事情勢

北朝鮮による拉致容疑事案

北朝鮮の金正日国防委員長は、14年9月に行われた日朝首脳会談において、日本人拉致問題について、「特殊機関の一部の盲動主義者らが、英雄主義に走ってかかる行為を行ってきたと考えている」との認識を示して謝罪し、同年10月には、5人の拉致被害者が帰国しました。

日本人拉致の目的について、金正日国防委員長は「一つ目は、特殊機関で日本語の学習ができるようにするため、二つ目は、他人の身分を利用して南（韓国）に入るためである」と説明しました。

また、「よど号」犯人の元妻は、金日成主席から「革命のためには、日本で指導的役割を果たす党を創建せよ。党の創建には、革命の中核となる日本人を発掘、獲得、育成しなければならない」との教示を受けた田宮高磨から、日本人獲得を指示された旨を証言しています。

諸情報を分析すると、拉致の主要な目的は、北朝鮮工作員が日本人のごとく振る舞うことができるようにするための教育を行わせることや、北朝鮮工作員が日本に潜入して、拉致した者になりすまして活動できるようにすることなどであるとみられます。

警察は、これまでに、日本人拉致容疑事案 12 件 17 人及び朝鮮籍の姉弟が日本国内から拉致された事案 1 件 2 人の計 13 件 19 人を北朝鮮による拉致容疑事案と判断し、北朝鮮工作員等拉致に関与した 8 件 11 人の逮捕状の発付を得て、国際手配を行っています。また、北朝鮮による拉致の可能性を排除できない事案があるとの認識の下、告訴・告発や相談・届出に係る事案についても、関係機関と緊密な連携を図りつつ、徹底した捜査や調査を進めています。



首脳会談を終え握手する小泉首相(当時)と金正日国防委員長 (14年9月) (時事)

北朝鮮による拉致容疑事案

	発生時期	被害者※()内は当時の年齢	発生場所	国際手配被疑者
1	昭和49年6月	高敬美さん(7)、高剛さん(3) コ・キョンミ コ・ガン	福井県小浜市	洪寿恵こと木下陽子 ホン・スヘ
2	昭和52年9月	久米 裕さん(52) ゆたか	石川県鳳至郡(現 鳳珠郡) ふげし ほうす	金世鎬 キム・セホ
3	昭和52年10月	松本 京子さん(29)	鳥取県米子市	
4	昭和52年11月	横田 めぐみさん(13)	新潟県新潟市	
5	昭和53年6月頃	田中 実さん(28)	兵庫県神戸市	
6	昭和53年6月頃	田口 八重子さん(22)	不明	
7	昭和53年7月	地村 保志さん(23) 地村(旧姓:瀨本) 富貴恵さん(23) はまもと	福井県小浜市	シン・グァンス 辛光洙
8	昭和53年7月	蓮池 薫さん(20) 蓮池(旧姓:奥土) 祐木子さん(22)	新潟県柏崎市	通称チェ・スン Chol 通称ハン・クムニョン 通称キム・ナムジン
9	昭和53年8月	市川 修一さん(23) 増元 るみ子さん(24)	鹿児島県日置郡(現 日置市) ひおき	
10	昭和53年8月	曾我 ひとみさん(19) 曾我 ミヨシさん(46)	新潟県佐渡郡(現 佐渡市) ひおき	通称キム・ミョンスク
11	昭和55年5月頃	石岡 亨さん(22) 松木 薫さん(26) とおる	欧州	森順子 若林(旧姓:黒田)佐喜子 さきこ
12	昭和55年6月	原 救児さん(43) ただあき	宮城県宮崎市	辛光洙 キム・キルウク 金吉旭
13	昭和58年7月頃	有本 恵子さん(23)	欧州	魚本(旧姓:安部)公博

注:地村保志さん、地村(旧姓:瀨本)富貴恵さん、蓮池薫さん、蓮池(旧姓:奥土)祐木子さん、曾我ひとみさんの5人については、平成14年10月、24年ぶりに帰国した。